

## 学外連携セミナー：デルフト工科大学

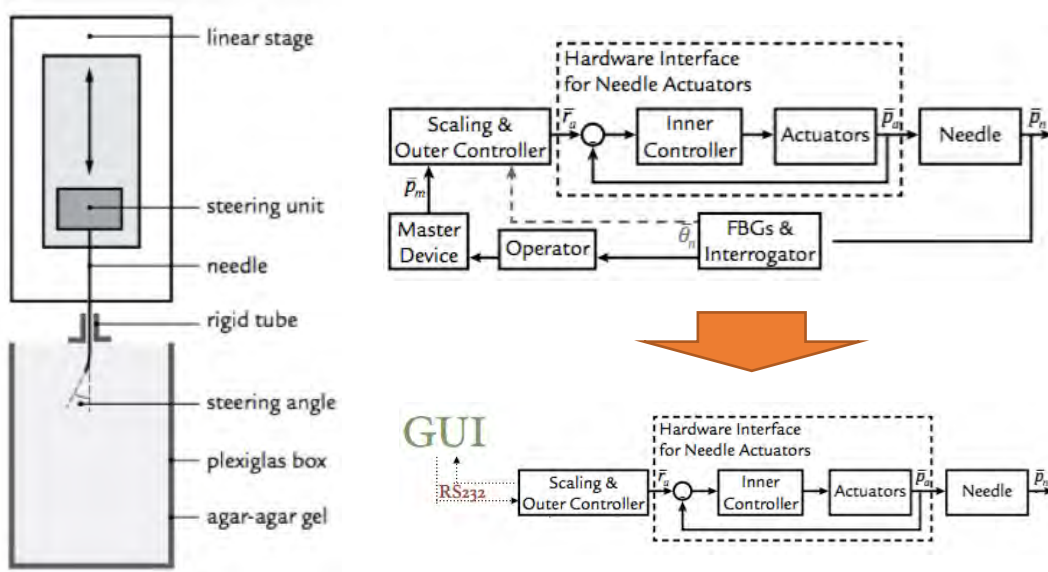
ハイブリッド医療人養成コース 工学系大学院生3年 朱 睿



2015年10月から12月までオランダで3ヶ月間の海外研修を行った。滞在する間にデルフト工科大学の3ME (Mechanical, Maritime and Materials Engineering) 学部の研究室に医療器機の開発について研修活動を展開した。そこで、研究室のメンバー達に色々と交流し、3ME学部の歴史や雰囲気、研究のやり方、行動方針などを沢山勉強した。また、研修中に英語での会話や、セミナーなどで立った言語環境のため、英語でのコミュニケーション能力向上にもかなり感じした。

休日にオランダの文化、風習などを体験し、当地の建物、お店、マーケットを遊覧した上で、オランダ人の考え方などを理解して、今後のグローバル社会に出る時の助力となる。





今回の研修する内容としては、曲げる針とセットのコントロールシステムにて、針の先端の曲げ角度をコントロールでき、設定とモニタリングしやすい GUI の開発である。

元のシステムは、力をフィードバック出来るコントローラーを選定して、針の先端を完全にマスター・スレーブ方式で動いた。従って、この行動式では、針の先端を確定な角度で進行する場合、手元の操作がかなり難しく、時間と手間も掛かっている。この問題について、力フィードバックシステムを取り外して、針先端の曲げ角度を直接に設定し、モニタリングできる GUI を課題として研究開発を行った。

